



広報

川越

■発行所 川越市役所

■電話 川越(0492)24-8811(代)

■発行人 川越市長 川合喜一

■編集 企画財政部企画課

昭和57年

No. 551

市の人口

262,251人

男=132,640人

女=129,611人

世帯数

出生250 転入2,521

死亡 96 78,558 転出1,449

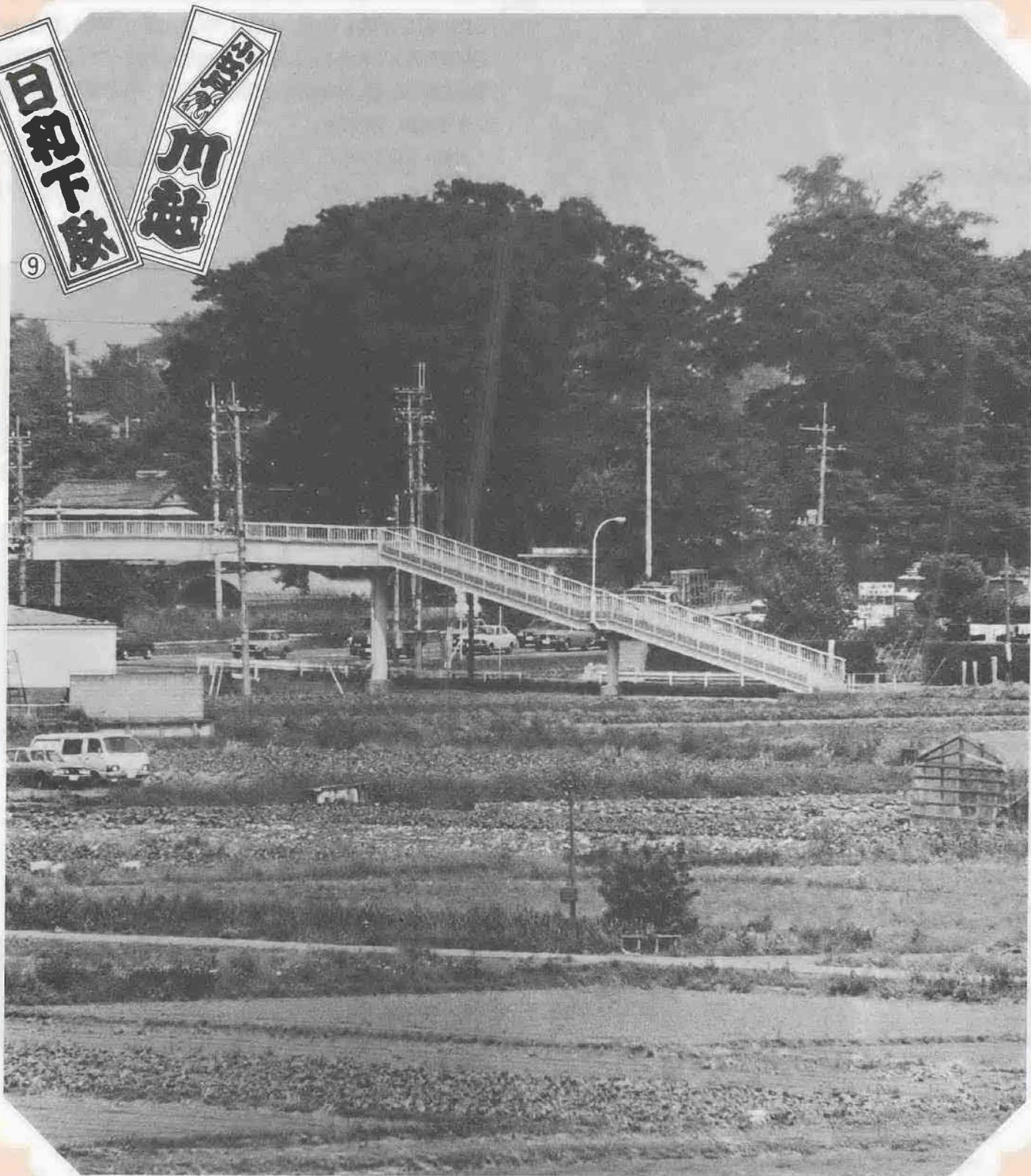
前月比+1,226人 +768世帯

5月1日現在

日和下駄

川越

⑨



「荒川の渡船を過ぐれば遙に広大なる城の矢倉が見える。彼(か)は何かと駕籠架夫(かごかき)に聞くと、それは川越城であると告げた。成程見ると其の屋根は周囲の壁まで瓦である。これなら大砲の一つや二つ屋上に破裂しても大丈夫だと、……感じた」。川越市の友好都市、福島県東白川郡棚倉町。江戸時代最後の川越藩主、松平周防守康英はこの地から川越に転封になった。東北地方から江戸にほど近い川越への転封を藩士一同は大変喜んだ。無禅道人の談話にもうかがえるように、きっと川越城の屋根はキラキラ輝いて見えたに違いない。現在は、郭町2丁目の初雁公園になっている川越城跡。市内の東側をめぐるバイパスごとに見る初雁公園の新緑が目に痛い。



△祭りの日 白黒



△だるま市風景 カラー



△豆まき(蓮馨寺) カラー



△節分 カラー



△もちつき踊り 白黒



△成人の日(喜多院) カラー



△喜多院の初大師 カラー



△喜多院境内 カラー



△糸 (いらか) 白黒



△雪の花 カラー



△西の市(熊野神社) カラー



△雪の慈眼堂 白黒



△伊佐沼の夕景 カラー



△蔵造り資料館 カラー



△初雪 カラー



△蔵造りの街角 白黒



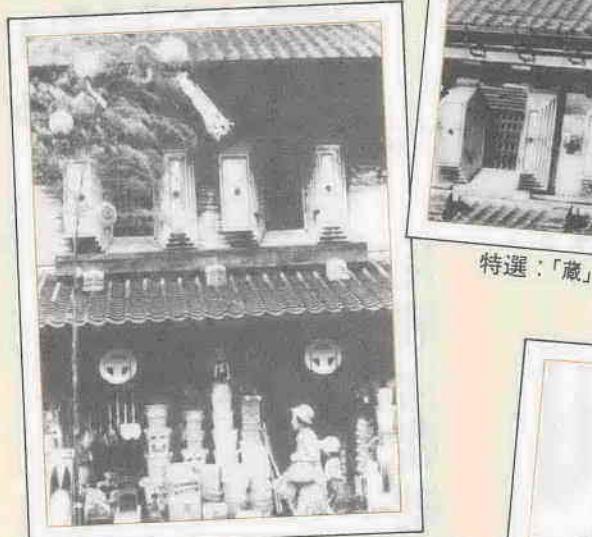
△はしご乗り カラー



△羅漢(喜多院) 白黒

- このページに一挙掲載したのは
入選作品です。いずれもレベルの
高い作品ばかりで、市内の祭り、
名所、史跡などが四季のいろいろ
に息づいてみえます。
- 入選者一覧**
- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1 林允勇 (東京都) | 2 佐伯スミ |
| (市内笠幡八五二二) | 3 福島愛 |
| 須田茂雄 (市内鯨井一五一) | 4 柳下光雄 (富士 |
| 三郎 (深谷市) | 5 大室肇 (入間郡鶴ヶ島町) |
| 見市) | 6 長島薰 (市内の場八九五) |
| 郎 (大里郡花園村) | 7 角 |
| 日金造 (市内霞ヶ関北一ー六一 | 八) |
| 八) | 9 船越昭男 (上福岡市) |
| 須田茂雄 (市内鯨井一五一) | 10 渋谷健男 (草加市) |
| 三郎 (深谷市) | 11 荒谷亮太 |
| 見市) | 12 小林一明 |
| 郎 (大里郡花園村) | 13 神山知則 (大 |
| 日金造 (市内霞ヶ関北一ー六一 | 14 横手常夫 (入間郡鶴ヶ |
| 八) | 15 千野俊昭 (市内南大塚 |
| 須田茂雄 (市内鯨井一五一) | 16 小林信行 |
| 三郎 (深谷市) | 17 遠藤正史 (浦和市) |
| 見市) | 18 有山正志 (入間郡毛呂山町) |
| 郎 (大里郡花園村) | 19 唐戸基登 (北葛飾郡鶴巣町) |
| 日金造 (市内霞ヶ関北一ー六一 | 20 橋 |
| 八) | 本隆男 (北足立郡吹上町) |
| 須田茂雄 (市内鯨井一五一) | 12 小林一明 |
| 三郎 (深谷市) | 13 神山知則 (大 |
| 見市) | 14 横手常夫 (入間郡鶴ヶ |
| 郎 (大里郡花園村) | 15 千野俊昭 (市内南大塚 |
| 日金造 (市内霞ヶ関北一ー六一 | 16 小林信行 |
| 八) | 17 遠藤正史 (浦和市) |
| 須田茂雄 (市内鯨井一五一) | 18 有山正志 (入間郡毛呂山町) |
| 三郎 (深谷市) | 19 唐戸基登 (北葛飾郡鶴巣町) |
| 見市) | 20 橋 |

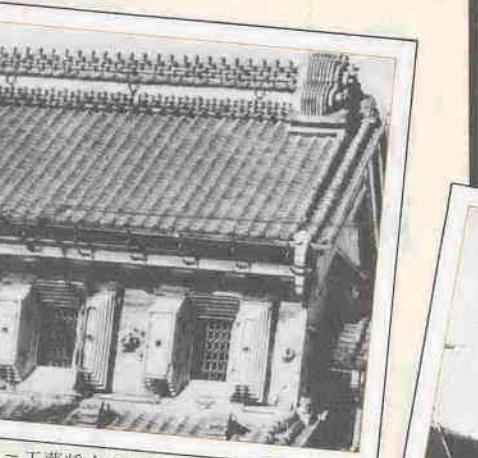
敬称略・順不同

推選:「山車」=里村章次(市内郭町2-14-3)
カラー

準特選:「流れ」=神波英夫(富士見市) 白黒

準特選:「はしごが行く」=原田守雄
白黒 (市内石原町2-48-6)東武鉄道賞:「五百羅漢にて」=鈴木保之
白黒 (市内今成605-13)西武鉄道賞:「川越祭」=土屋元治
白黒 (東京都)

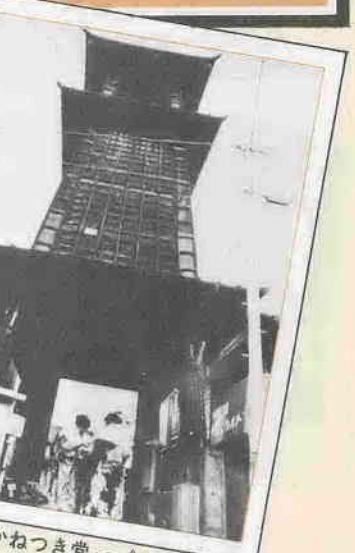
川越市観光協会(会長、川合喜一市長)では、昨年度、第一回「小江戸川越観光写真コンクール」を実施。このほどその入選者が決まりましたから、特選など三十点を紙上展として紹介します。はじめて行われたこのコンクール。歴史と伝統が香るこのまちのこと、関東一円からの応募点数は六百五十点にも。市内の四季折々のスナップに、新たな川越が発見できる気がします。今年も二回目が実施されますから、あなたも参加してみてはいかがでしょう。



特選:「蔵」=工藤将人(東久留米市) 白黒

準特選:「はしご乗り」=小野沢正夫
白黒 (市内安比奈新田54-25)準特選:「小江戸川越まつり」=齊藤尚夫
カラー (市内山田1719-1)

小江戸川越の四季描く 観光写真コンクール紙上展

特選:「かねつき堂」=金子真三
白黒 (市内仙波町1-16-2)準特選:「小江戸川越まつり」=齊藤尚夫
カラー (市内山田1719-1)

ストロボ賞:「川越祭」=坂田茂行(久喜市) カラー

の皆さんと楽しいひとときを



(日)は伊佐沼公園に

私たちの社会は、ごく普通に生活している人々、体になんらかの障害をかかえている人々、お互いに助け合って生きてきました。しかし、いつの日か、目に見えない心の溝ができてしましました。それはいつたいなぜでしょう。

こんな問い合わせで、6月6日(日)、今年も伊佐沼畔を会場に、「しあわせ広場」が開かれます。昨年、国際障害者年を記念して生まれたこの集い。障害者の皆さんと市民とのふれあいの場です。みんなそろって楽しみましょう。

障害者

6月6日

楽ししさいっぱい
送迎バスの運行も



昨年のしあわせ広場

送迎バス運行予定表

どなたでも無料で利用できます。



＜バス運行経路＞

経 路	
1号車	会 場 → 本川越駅 → 市役所
2号車	会 場 → 川越駅西口 → 市役所
3号車	会 場 ← 南古谷農協
4号車	会 場 ← 大東出張所
5号車	会 場 ← 名細出張所
6号車	会 場 ← 高階出張所
7号車	会 場 ← 福原農協
8号車	会 場 ← 霞ヶ関出張所
9号車	会 場 ← 霞ヶ関出張所
10号車	会 場 ← 山田農協

相談もあります。どなたでも参加できますし、入場は無料です。
当会場までの送迎バスがありますから、ご利用ください。また、車イス利用者など、重度身体障害者の方で送迎バス発着所まで来られない方には、ハンディ・キャブもあります。「希望の方は住所、氏名、電話番号、自宅付近の見取り図を明記の上、5月二十九日(土)までに実行委員会事務局(元町一三一、社会福祉協議会内)へ申し込んでください。

青空の下で、障害者の皆さんとともに楽しいひとときを」というこの「しあわせ広場」。昨年は、あいにくの雨模様にもかかわらず、二千人近く人々がつめかけ、熱っぽい交流の渦が巻き起こりました。

川越市社会福祉協議会(川合喜一理事長)を中心に、市内三十五団体により形成された実行委員会主催のこの催し。今年も、六月六

テーマは

空と大地と仲間たち

日(日)、市民の憩の園、伊佐沼公園で開かれます。第二回を迎える今年のテーマは、「空と大地と仲間たち」。しあわせ広場実行委員会(三上春吉委員長)のパンフレットは、次のように訴えています。

「自然の中での友だちづくり」
「体の不自由な人が困っているの

に、さりげなく通り過ぎてしまつたことはありませんか。勇気なんやさしい一言をかけてください。空には大きな太陽があり、大地にはたくさんの草花、生物が生きているように、みんな生きている友だちです。そんな心のふれあいをやさしく見つけ出せませんか。今年の「しあわせ広場」は、自然の中に生きている人間本来の生き方を通して、友だちづくりをすることを目的とします」。

* * * * *

私たちには、誰もが幸福で生きたいのある生活をしたいと願っています。そのために欠かすことのできないのが基本的人権の保障です。

私たちには憲法に保障されている「基本的人権」をお互いに尊重し合うとともに、「それを自分たちの力で大切に守り、育てていかなければなりません。

ところが、私たちの身近な生活には、全く、これに反した差別が存在しています。男女の差別、就職差別、結婚差別、象地域に生まれた」といって、ただそれだけのことです。そのため、対象地域に生まれた人々がいることがあります。これが、部落差別の核心は、憲法によって何人も保障されています。それが、部落差別なのです。

このことの核心は、憲法によって何人も保障されています。これが、部落差別の核心は、憲法によって何人も保障されています。これが、部落差別なのです。

人間として確かに生き方をするために

同和教育シリーズ
2

私たちは、誰もが幸福で生きたいのある生活をしたいと願っています。そのためには、憲法の基本的人権が保障されるべきです。これが、部落差別なのです。

このことの核心は、憲法によって何人も保障されています。これが、部落差別なのです。

このことの核心は、憲法によって何人も保障されています。これが、部落差別なのです

ぼくらの作文

たんれん遠足



朝おきるとすぐ、まどをあけて
たんれん遠足でかみごうばしへ
行った。
朝おきるとすぐ、まどをあけて
みた。きのう雨がふっていたのに、
朝日が少し見えたので、
「きょうは、遠足に行
けるな」と思つて二か
いから下りて行くと、
お母さんがおにぎりを
作つていた。お母さんは、
「四こでは、数がわる
いから、五こにしなき
いよ。」
と言つた。
でものこすかもしけな
いから、
「やつぱり、四こでいいよ。」
と言つた。
「じやあ、少し大きくなれるね。」
と言つた。
学校について、少しつと、う
んどうじょうで、校長先生の話が
あった。
「気をつけて、がんばっていつて
きいてください。」
校長先生の話がおわると、ぜん
うなので、一組から、しゃっぽつ
と、
「帰りはつかれてしまつてやつと
やましい。」
学校についた。

川越小3年 遠山比呂美

「五分間のきゅうけい
です。」
と言つたのですわつて、
水とうの水をのんでか
ら、あついのでしたぎ
をぬいでしまつた。ま
だ休んでいたいのに、
「もうしゅっぱつしま
す。」
という声が聞こえたの
で立ち上がりつた。
麦畠麦畠、麦畠ばつ
かり。
「あつ、土手だ。」
だれかが言つてゐる。
やつとついた。足がつ
かれでいたい。かみご
うばしの近くにすわつて、すぐお
にぎりを食べた。あんぎくん、
わか林くん、くり本くん、あお田
さん、はすみさんといつしょに土
手にならんだ。だれのおにぎりも
おいしそう。外で食べるといい氣
もち。四こせんぶ食べてしまつた。
食べおわると、みんなで長なわを
した。りえちゃんはうまくてうら
ぎきてください。」

歴史シリーズ(11)
江戸城紅葉山から移築
した客殿など、数多くの
重要文化財で知られる小
仙波町一丁目の喜
多院。その本堂、
慈惠堂は、「潮音
殿」とも呼ばれて
います。潮の音、とは実
にいい名前ではあります
が、現在も喜多院の南側に
中院という美しい庭で有名なお寺
がありますが、喜多院も中院も中
世には一つの寺でした。今では存
在しない南院とあわせて中世には
多院の創建は奈良時代と考えてよ
りましょう。



した。少し行くと、しみんぐラン
ドのそばを通りてはどうきょうに
出た。バイパスをわたると、そこ
はいちめん田んぼや麦畠。みどり
色のじゅうたんみたい。風が吹く
とゆれきり。また少し歩いて
いくと、ぶたごやがあった。二年
の時、やつぱりあつたのでおぼえ
ていた。やつといさぬまについた。先生
が、
「五分間のきゅうけい
です。」
と言つたのですわつて、
水とうの水をのんでか
ら、あついのでしたぎ
をぬいでしまつた。ま
だ休んでいたいのに、
「もうしゅっぱつしま
す。」
という声が聞こえたの
で立ち上がりつた。
麦畠麦畠、麦畠ばつ
かり。

三院あつて、無量寿寺と称してい
たのです。喜多院の寺伝によると、
三百廿のところにある小仙波貝
塚の存在と本殿に付けられた「潮
音殿」という呼び名。これらは、
期に中島孝昌が記した川越地方の
地誌「三芳野名勝図会」の喜多院の
草創というこの寺。江戸時代中
項目には「至 桓武平城之朝」
とありますから、いずれにせよ喜

多院のほど近くまで海がせまつ
ていたことを示しています。
また、現在は境内にある多善塔
道の付近にあつたもので、
寛永十五年(一六三八)、高
喜多院のほど近くまで海がせまつ
て建てたのが最初です。このとき、
刀剣やその他の副葬品が出ていま
す。この遺物は石の箱に納めて埋
ました。この石箱は古墳群
時代後期の曲玉や管玉が確認され
ています。このほか、境内中央の



潮音殿が伝える

せまりくる海

市民会館6月の主な催しもの予定

[入場が関係者だけに限られているもの]
[やりハーバルなどは除いてあります。] <5月7日現在、ホールのみ>

曜日	催し	入場方法	開演時間	主催者
5 (土)	川越高校吹奏楽部第20回定期演奏会(1日目)	入場券 350円 [19日との両日券600円]	PM 2:30	同校吹奏楽部 ☎22-0224
6 (日)	川越南高校吹奏楽部第2回定期演奏会	入場券 300円	PM 1:30	同校吹奏楽部 ☎44-5233
7 (月)	シルクロードの歌と踊り "タジク民族 アンサンブル公演、	入場券 S 3,000円 一般 2,500円 J 2,000円 A 1,500円	PM 6:30	川越音楽鑑賞協会 ☎23-0656
12 (土)	五木ひろし ピッグ・ステージ	入場券 前売特S 5,000円 S 4,500円 A 3,000円 [当日券 特S-Sは500円 Aは1,000円高]	PM 2:00 PM 6:30	松本エンター・プライズ ☎43-5827
13 (日)	川越少年少女合唱団定期演奏会	入場券 500円	PM 1:30	同合唱団 ☎23-1492
16 (木)	劇団銀河鉄道公演 ぬいぐるみ人形劇 「まえがみ太郎」	入場券 800円	AM11:00 PM 2:00 AM10:30 PM 1:30	川越地区私立幼稚園協会 ☎42-5161 (新河岸幼稚園)
19 (土)	川越高校吹奏楽部第20回定期演奏会(2日目)	入場券 350円 [5日との両日券600円]	PM 2:30	同校吹奏楽部 ☎22-0224
20 (日)	栗原楽器チェス・ナツツコンサート:EAST·WEST 川越地区予選	入場券 500円	正午	栗原楽器店 ☎22-6434
26 (土)	川越女子高校音楽部第16回定期演奏会	入場券 200円	PM 2:00	同校音楽部 ☎22-3511
27 (日)	ピアノ・エレクトーン発表会	無料	PM 2:00	曾川智子(富士見町) ☎24-7861
30 (火)	川越市役所吹奏楽研究会第4回定期演奏会	無料	PM 0:15	同吹奏楽研究会 ☎43-1346(対崎)

▷主催者の都合で、一部変更になる場合もあります。

▷入場券等の申し込みや問い合わせは、それぞれの主催者あてにお願いします。

▷■=指定席、○=高校生、△=中学生、◎=小学生

◆11月中の市民会館使用申し込みは、6月2日(木)の午前9時からお受けします。くわしくは、市民会館(郭町1-18-7、☎22-4678)へ。